

レジメン名称：多発性骨髄腫 ERD療法 1サイクル目

適応がん種：多発性骨髄腫
 インターバル日数：28日
 予定コース数：PDまで

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1)	day(8)	day(15)	day(22)	day()	day()	day()	day()
1		ポララミン2mg	1錠	経口	内服		10:00	10:00	10:00	10:00				
		ブルフェン100mg	2錠	経口	内服		10:00	10:00	10:00	10:00				
2		生理食塩液100mL	1本	点滴静注	末梢メイン	ラインキープ用	10:00	10:00	10:00	10:00				
3		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢側管	15分で	10:00	10:00	10:00	10:00				
		ファモチジン注20mg	1A											
		デキサート注(デキサメタゾンとして)	6.6mg											
4	*	生理食塩液250mL	250mL	点滴静注	末梢側管	初回投与時間(単位ml/h)	11:00	11:00	11:00	11:00				
		エムプリシティ点滴静注	10mg/kg			day1: 30分毎に投与速度を変更(30→60→120)								
		注射用水	13~17mL			day8: 30分毎に投与量を変更(180→240)								
		*エムプリシティ300mgは13mL、400mgは17mLの注射用水で溶解して、必要量をNSに混注		day15以降: 開始時から300で投与										
*体重が50kg未満の場合、NS150mLに、50~90kg未満の場合は250mLに、90kg以上の場合は350mLに溶解		*0.2または0.22μmのインラインフィルターを使用する												
		*ポンプ使用												
5	*	レブラミド5mg	5錠	経口	内服		← day1~day21 適宜減量可 →							
6		レナデックス4mg	7錠	経口	内服		8:00	8:00	8:00	8:00				

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
4	エムプリシティ	10mg/kg	
5	レブラミド	25mg	25mg

<備考>

- ①エムプリシティの投与速度は300mL/hrを超えないこと
- ②レナデックスは原則エムプリシティ投与3~24hr前までに服用すること
- ③レブラミドとレナデックスは適宜減量可